

## 第2章 計画地及びその周辺地域の概況並びに環境の特性

### 2.1 計画地及びその周辺地域の環境の特性

#### 2.1.1 立地特性

計画地は、主要部分が更地となっているものの、2021年に生産を停止した工場に関する撤収工事が現在も継続しており、今後解体が予定されている一部既存建物が現在も存在している。これらの既存建物は、老朽化が進んでいることも踏まえ、先述の稼働停止工場撤収工事の一環として、解体を進めているところである。

また、計画地が位置する夜光1丁目の用途地域は、大部分が工業専用地域に指定されており、一部商業地域に指定されている。また、夜光1丁目は大部分が川崎港臨港地区に含まれている。

計画地及びその周辺は、川崎臨海部の埋立地等であり、標高が約1.0m～3.5mの比較的平坦な地形となっており、末広運河、千鳥運河などの水域が隣接している。

#### 2.1.2 環境の特性

計画地及びその周辺の概況を踏まえ、「地域環境管理計画」の大項目にそって環境の特性を表2.1.2-1に示すとおり整理した。

表 2.1.2-1(1) 周辺地域の環境の特性

項目		周辺地域の環境の特性
環境の特性	地球環境	計画地は、工場跡地であり現状は主要部分が更地となっている。よって、著しい温室効果ガスの発生はない。計画地の周囲は、大部分が工業専用地域であり、温室効果ガスを発生させる工場や事業所などが存在している。
	大気	計画地は、工場跡地であり現状は主要部分が更地となっている。よって、著しい排気ガス、悪臭、その他の大気環境要素に係る物質の発生源となる施設は存在しない。 計画地周辺の一般局である大師測定局及び田島測定局、自排局である池上測定局及び富士見公園測定局の令和5年度の二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )及び浮遊粒子状物質(SPM)の測定結果は、環境基準に適合している。 令和元年度から令和5年度の過去5年間において、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は環境基準に適合している。
	水	計画地の周囲には、東側に川崎製造所敷地を囲むように運河が存在している。計画地に最も近い公共水域測定地点(京浜運河千鳥町)の令和5年度の調査の測定結果は、COD(75%水質値)3.8mg/m <sup>3</sup> 、全窒素0.88mg/L(上層年間平均値)、全磷0.086mg/L(上層年間平均値)であり、環境基準に適合している。 そのほか、計画地は工場跡地であり現状は主要な建物も撤去されており、水温、底質等の水環境に影響を及ぼすような施設は存在しない。
	地盤	計画地は、平坦な地形を有する工場跡地であり、現状は主要部分が更地となっており、地下水の汲み上げを行う施設はない。 計画地周辺の水準点における年間地盤変動量は令和2年度～令和6年度において前年比-4.9mm～4.9mmであり、川崎市の地盤沈下の監視目安(年間20mm以上の沈下)を下回っている。
	土壌汚染	計画地外であるが、川崎製造所敷地内である夜光1丁目3番1号の一部は、「土壌汚染対策法」に基づく形質変更時要届出区域に指定されている。

表 2.1.2-1(2) 周辺地域の環境の特性

項目		周辺地域の環境の特性
環境の特性	騒音・振動・低周波音	<p>計画地は、工場跡地であり現状は主要部分が更地となっている。よって、著しい騒音・振動・低周波音の発生はない。計画地の位置する川崎区大師地区では、騒音規制法に基づく特定工場等が 179 件、振動規制法に基づく特定工場等が 118 件となっており、このような周辺施設が、騒音・振動を発生させる可能性がある施設としてあげられるほか、計画地周辺の一般国道 132 号線、殿町夜光線の道路交通を走行する車両等が騒音・振動の発生源としてあげられる。</p> <p>計画地周辺の自動車騒音の測定結果は、一般国道 132 号線の川崎区四谷下町付近では夜間の環境基準を超過している(令和 4 年度測定)が、東京大師横浜線の池上新田公園前では環境基準を達成している(令和 6 年度測定)。</p>
	廃棄物等	<p>計画地は、工場跡地であり現状は主要部分が更地となっている。よって、廃棄物等の発生はない。</p>
	水象	<p>計画地の周囲の主要な水域としては、川崎製造所敷地の東側に千鳥運河、北側に末広運河が存在する。千鳥運河の幅は、130～150m、水深は 2～4m 程度、末広運河の幅は 75～290m、水深は 2～4.5m 程度である。</p> <p>川崎市では、湧水地調査が行われているが、計画地及びその周辺に対象となる湧水は存在しない。</p> <p>計画地南側約 0.6km の千鳥町観測所で測定されている地下水位は、令和 5 年度において管頭からの年平均水位が-3.85m となっている。</p>
	生物	<p>計画地は川崎製造所内にあり、まとまった緑地はなく、動植物の生息・生育環境は、ほぼ存在しない。</p> <p>周辺には、東側に千鳥運河が存在しているほか、塩浜緑地、鷹取公園等の公園緑地が存在する。</p>
	緑	<p>計画地は川崎製造所内に位置しており、自然植生は存在していない。</p> <p>川崎製造所内では、緑化地が整備されているが、まとまった樹林・草地などは存在しない。</p>
	人と自然とのふれあい活動の場	<p>計画地は川崎製造所内に位置しており、人と自然とのふれあい活動の場は存在していない。</p> <p>計画地の周辺には、計画地北西約 150m の位置に塩浜緑地、西側約 200m の位置に鷹取公園等が存在する。</p>
	歴史的文化的遺産	<p>計画地は川崎製造所内に位置しており、歴史的文化的遺産は存在していない。</p> <p>計画地に最も近い指定文化財は、南西に約 0.9km 離れた場所にある「塩釜神社の狛犬」である。</p>
	景観	<p>計画地周辺における代表的な眺望地点としては、川崎製造所の西側に隣接する殿町夜光線が、不特定多数の人の利用が高い場所としてあげられる。</p> <p>また、計画地周辺においては、「川崎市景観計画」で景観資源に指定されている平間寺、大師公園、ちどり公園などが存在するが、これらは計画地から 1km 以上離れている。</p>
	建造物の影響	<p>計画地は、川崎製造所の内部に位置し、その北側から東側にかけては工業専用地域が千鳥運河まで広がっている。また、西側は、川崎製造所の敷地境界側に、既存の中高層建築物が存在し、その外側は殿町夜光線が通っている。南側は、100m ほど離れた場所に商業地域が指定され、住居などが存在する。</p>
	コミュニティ施設	<p>計画地が位置する夜光 1 丁目の人口は 99 人、世帯数は 97 世帯、隣接する塩浜 4 丁目の人口は 60 人、世帯数は 55 世帯(令和 6 年 12 月末日現在)となっている。</p> <p>また、計画地周辺の夜光 1 丁目、塩浜 4 丁目には主要公共施設等は存在しておらず、最寄りの施設としては、計画地の北西約 0.7km に位置するだいの里保育園及び特別養護老人ホーム大師の里などがあげられる。</p> <p>公園、緑地は、計画地北西約 150m に位置する塩浜緑地、西側約 200m に位置する鷹取公園が存在している。</p>

表 2.1.2-1(3) 周辺地域の環境の特性

項目		周辺地域の環境の特性
環境の特性	地域交通	<p>計画地周辺の主要な道路としては、計画地西側の殿町夜光線、南側の一般国道 132 号、北側の一般国道 409 号及び首都高速川崎線があげられる。</p> <p>計画地最寄りの殿町夜光線の交通量は、12,456 台/日（令和 3 年度）であり、大型車混入率は 48.8%となっている。</p>
	地形・地質	<p>計画地及びその周辺は、川崎臨海部の埋立地等であり、標高約 1.0～3.5m の比較的平坦な地形となっている。</p> <p>また、計画地周辺のボーリング調査結果より、計画地から西側に 200m の地点ではシルト質砂・砂層で N 値が 10～20 の範囲内、北北西側に 100m の地点ではシルトや砂層で N 値は深さ 21m までは約 5 未満、37m までは 10 前後となっており、計画地及びその周辺はおおよそゆるい地盤であると考えられる。</p>
	安全	<p>計画地は、主要部分が更地となっており、火災、爆発、化学物質の漏洩等を発生するような物質を扱う施設はない。</p>

( 空 白 )